

※文字の大きさは MS ゴシック /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、適宜文章中に挿入してください。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄
 No.

【様式 2】

エントリー名：新潟市立白新中学校

活動名：生徒が輝く「ブカツイノベーション」～生徒自らがデザインする放課後活動の創造～

解決すべき課題
 部活動の地域移行に関する議論が「教職員の働き方改革」にのみ焦点化されることは、「誰のための改革か」という最も本質的な問いを、とすると見失うことになりはしないか。今の部活動の形をそのまま地域へ移行することがこの改革のゴールでは決してないはずである。
 子どもを主語とした学校発の地域協働「ブカツイノベーション」、すなわち子どもたちが生涯にわたってスポーツ・文化活動に自発的に取り組める持続可能な環境づくりこそが改革の焦点である。

ブカツイノベーション **子どもを主語とした部活動改革** **生徒がデザインする放課後**

目標 生徒自身がやりたいことを自分でデザインすることができる放課後の創造

学校運営協議会とともに、休日の部活動のみならず、平日を含めた部活動改革「ブカツイノベーション」を実現し、生徒の可能性を最大限に伸ばすことができる放課後環境を創造する。

方針 平日の活動も含め、学校と地域が役割を分担しながらより良い環境を新たに構築する
 ・17時までは、学校が担うべき役割として、「どんなことも・誰とでも・気軽に」スポーツや文化活動に取り組み、かつ生徒自身が考え企画し運営することができる環境を構築する。
 ・17時以降は、地域が主導となり、学校施設を使いながら、「レベルアップ」「トップ」志向のクラブによるスポーツ・文化に取り組むことができる持続可能で質の高い環境を構築する。

活動内容
 部活動改革前の白新中学校の部活動の現状（令和4年度）は、全生徒の87.5%が部活動に加入し、その内運動部58.5%、文化部29.0%所属していた。部活動に費やした時間は、平日・休日・長期休業中を合わせると約450時間行われていることが分かった。これは、**教育課程年間標準授業時数（1015時間）の45%にあたる時間**である。そもそも部活動は、教育課程外の教育活動である。そして、希望入部制であることから、全員を対象とした教育活動でもない。また、少子化による部活動種目の精選により多様なニーズに応えられる活動を準備できないことや、同じ部活動内にもエンジョイ層から競技志向層が混在していることの問題（図1）もあり、部活動の形をそのまま地域に移行したとしても解決すべき課題の本質的解決に至ることはない。
 そこで、大前提となる学校基本方針を、

1 現状の部活動を移行する考え方をしない
 2 平日の活動も含めて部活動改革を行う
 3 地域の協力を得て、学校と地域で役割分担をする

生徒が主体となって放課後をデザインする姿へ

と設定し、これら基本方針を踏まえ、令和4年度学校運営協議会において、部活動改革についての方針説明を行い、「子どもたちの放課後をデザインし直すことを通して、子どもたちが放課後をデザインし直すことができる」持続可能な環境づくりをビジョンとして共有し、承認を得た。運動部・文化部ともに、そして休日だけでなく平日を含め、多様なスポーツ・文化活動に気軽に取り組むことができる生徒主体のエンジョイ層、地域の協力を得ながら、専門的な指導を受けることができるレベルアップ・トップ層の活動ができる志向別モデルを構築した。

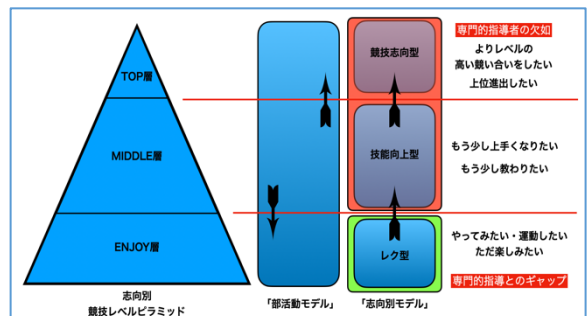


図1 志向別競技レベルピラミッドモデル

取組の過程
 17時までの活動を「放課後デザイナー活動」と称し、週2回1時間の「生徒が主体となって企画運営するスポーツ・文化活動」を行える環境を整備（図2）した。「放課後デザイナー活動」は、1年間を3期に分け、生徒自らが企画提案した内容に興味を抱いた生徒が集い、自主的に活動を行うものである。今年度は、ドッジボール・バドミントン・フットサル・卓球・ソフトテニス・バスケットボールの球技の他、ギター・音楽・イラスト・けん玉・科学クラブ・写真・イベント企画活動が発足した。各期に行いたい「放課後デザイナー活動」をとりまとめリードする「放課後デザイナー×デザイナー」が生徒の発案により発足し、活動をさらに盛り上げるための企画会議を行った。活動に参加した生徒に対し形成的評価を行った結果、①「楽しむ（情位目標）」、②「できる（技能目標）」、③「わかる（学び方＋認識目標）」、④「かかわる（社会的行動目標）」のうち、①「楽しむ（情位目標）」、④「かかわる（社会的行動目標）」ことに生徒の満足度が高いことが確認できた。
 17時以降は、学校長を代表とする「白新ユナイテッド」なる組織を学校運営協議会内に設置（図3）し、同協議会から活動方針および内容の審査を受け、承認・委託を受けた地域クラブが学校施設を利用し活動を行う。今年度は、バスケットボール・サッカー・ソフトテニス・野球・音楽のスポーツ・文化クラブ5種8クラブが認可された。魅力ある運営に向け複数回の研修会を実施し、サッカークラブは県中体連認可地域クラブとして、中体連大会に出場した。また、バスケットボールにおいては競技力・志向別のクラブが設立され、同じ種目であっても技能向上を目指すミドル層クラブの他、大会への上位進出を目指すトップ層のクラブなど、生徒の多様なニーズに合わせた活動が展開されている。
 また、自校生徒のみならず他校の小・中学生が地域クラブに参加するなど、従来部活動の枠ではできない多様なニーズに沿った「地域に開かれたスポーツ・文化活動」が展開されている。

活動の成果：
 「放課後デザイナー活動」において、様々な活動が企画されるが、まだまだ充実した活動にはなり得ていない。しかし、新しいことを始める時こそ、課題を成果として捉えることに、この活動への可能性が秘められている。「白新ユナイテッド」では、部活動地域移行に向けた取組実践を、改革パッケージ（図4）として提案し、他校での取組に汎化できるよう積極的な情報提供を行っている。

「時間」と「空間」と「仲間」の三つの「間」で、「志向別モデル」を推進する学校発の地域協働ブカツイノベーションは、子どもたちの生涯にわたるスポーツや文化活動に親しむ態度を育み、将来的にはこれを支える地域の魅力向上、つまりは「まちづくり」にもつながるものである。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
15:45	帰りの会	清掃	帰りの会	清掃	帰りの会
16:05	放課後デザイナー活動	帰りの会	帰りの会	放課後デザイナー活動	帰りの会
16:45					
17:00	HAKUSHIN UNITED 学校運営協議会で審査・委託を受けた地域クラブによるスポーツ・文化活動				
17:20					
18:45					

図2 令和5年度からの校時表と放課後活動

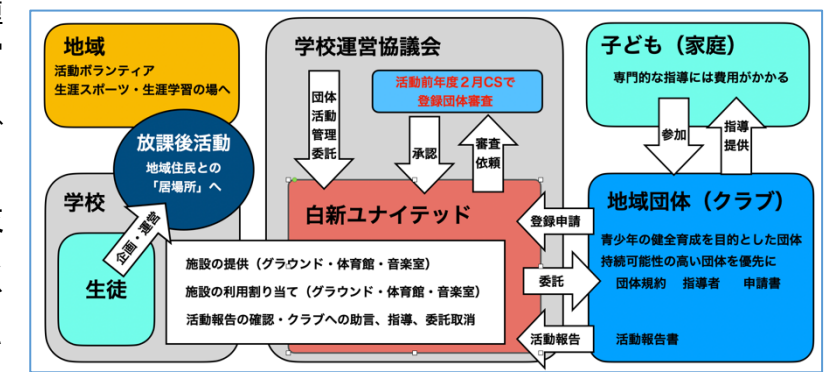


図3 学校運営協議会と地域クラブとの関係

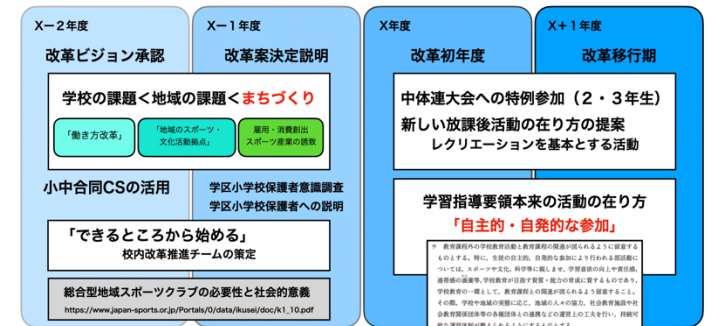


図4 学校発の部活動改革パッケージ案